

寺報

龍正寺

日なた 75号



<平成26年 8月>

宝龍会
護持会

平成二十六年七月十三日

盂蘭盆施餓鬼会大法要

開催しました



仏様の準備も整い御先祖様を迎えることができました



親子三代揃っての先祖供養



新盆・特別供養申込みの方による行道



ご先祖様へ水をさし お題目旗を立てていきます

当日はたくさんの方にお参りして頂き有り難うございました。

昨年より、「御題目旗」を書いて頂くようになりました。お焼香の時に奉納して頂いておりましたが、「来年は奉納の仕方を変えてみては？」といった意見も法要終了後に聞かれました。

来年の施餓鬼会の案内の時に新しい奉納の仕方を御案内出来るのでは・・・と思っています。

任 職 - 言

自分を、一歩でも成長するためには何をすべきか。
小さい事が解決できなければ、大きな事を解決する
ことはできない。

「日蓮大聖人御遺文、種種御振舞御書」に

『一丈のほりをこへぬもの十丈、二十丈のほり
をこうべきか』

と説き仰せられておられます。

【訳】一丈とは(約3メートル)の堀を飛び越えられない者は、
十丈・二十丈の堀を越えることはできない。

一つ、二つ、の小さな積み重ねの結果となってあらわれる。

園児が、跳び箱に挑戦、一段目、二段目と、小さな
からだで毎日練習を重ね、約1年ぐらいで7段の
跳び箱を越える事が出来た、この喜びは、小さな毎日
の努力が、実力以上の力を出す事が出来る。

ここに、努力もせず、浅知恵をめぐらしても、自分
の実力以上の力は出さぬ事が出来ないと思ふ。

どんな事でも、地道に努力を重ねれば、ぶつかって
しまった高い壁でも、突破口が見つかると思
います。

毎日の小さな積み重ねた努力があって、小さな事が解決
し、大きな事までが解決する事ができる。

さて何事にも意欲的にやり、新たな目標が
芽ばえ、明るく、楽しい生活をと、日蓮大聖人
は、毎日の積み重ねる努力の大切な事と、お教え、お説
になった。前向きに物事を考え、楽しい日々をす
ごしましょう

合掌

— 挑戦するカ —

いよいよ夏本番ですね。蒸し暑い日が続きますので、皆さん熱中症には充分注意して下さいね!!

一昨年の秋に決断をして取り組んでいた保育士資格取得…。昨年夏に受験し、結果は一部合格。今年二度目の筆記試験に挑みます。

私の夢、目標としてやってきた事です。この年によってやっと将来像が見えてきた感じです。学生の頃は何となく過ぎていました。中学生の娘は小学校高学年の頃からずっと美容師になりたいと言っています。

こんな頃からやりたいものがあるなんて羨ましいなと思いつつ、喜びも感じている私です。

小さい子を抱えている方は、子どもを預けたいとなかなか美容院に行けない現状(最近ではキッズルーム併設の美容院も増えてきたか…)があり、娘もそんな私を見ていてくれたんですね。「美容師になって、自分のお店を持ったら、お母さんが小さい子を見てあげれるスペースも作ればいいね」と言ってくれ

たのです。こんな事を言わねたら、保育士取得を諦めるなんてできませんね!! 拍車ババかりました。

行きつけの美容院の店長も、この話は知っています。娘はこの美容院に行き、美容師になりたいと言い出した事を伝えると、涙をにじませて喜んでくださる方です。中学校の職場見学、職場体験でもお世話になっていきます。

その店長が、先日、新しい挑戦を話して下さいました。そして、私達親子の姿が、その後押しの一つになっているという事も知り、涙が出る程うれしかったです。

自分の言動が、意図しない所で誰かの前向きな力になっているなんて...。人と人との繋がりを感心の一瞬でした。私も娘の一言、この店長からの言葉、勿論、家族の支えにより、どれだけこの挑戦の力を頂いているか...。この気持ちに伝えるためにも、試験合格に向けて精一杯頑張ります!!

〇〇〇〇〇〇 ヒョン今はチャンスとして幸福へ 〇〇〇〇〇〇

早いものです。今年もあっという間に7ヶ月が過ぎました。毎日、時間に追われています。

特に今年の夏は、就職して、初めての大きな壁にぶつかりました。それは、専門知識や経験値が必要な出来事でした。今までのように、楽しい好きな仕事という思いでは、乗り越えられない事でした。

しかし、その事で以前より自分自身に自信を持ち、介護士としての能力を高め、仕事を向上させる為にも、資格をとろうと思っていた気持ちが強くなり、勉強をはじめました。そんな時に、考えた事もない家族の病気がみわかりました。追いかぶさる出来事に、今ひとつひとつ対処しようと必死に立ち向っています。

きっと以前の私でしたら、御住職に「何故こうなるのでしょうか?」「お参りも毎日しています。お経も御題目も唱えています。何故、助けてもらえないのでしょうか?」と泣き事を言っていたと思います。

でも今は違います。どのような事かあろうとも、私は必ず与えられた場所で私なりの人生の花を咲かそうと思えます。乾ききった土の上・流れの激しい川の中・陽ざしの当たらないビルの谷間……。たとえどのような場所におか

れようとも、¹ 私なりの精一杯の人生の花を咲かそう、
これは「法華七喩」…“三草二木のたとえ”のごとく、今の
自分に与えられた事に感謝しよう。そして 迷い・悩み・苦しみ
疲れた時は、“化城宝処のたとえ”のごとく、身も心も休め
て、また改たな気持ちで前に進もうと思います。

それか、大ピンチをチャンスへと、そして幸福へと繋いでいく事
が出来ると確信しています。

私は、日蓮大聖人のお教え、法華経によって力強く生きてゆ
く事を学びました。どのような結果も私に必要な事なのだと
思います。それを受け入れ、歩んでこそ私の幸福へ繋いで行
く事ができると思います。

まだまだ暑い日はこれからです。各地での異常気象・自然災
害・社会で起きている常識では考えられない狂気的な事件の
数々…。いつ、どこで遭遇するかわかりません。だからこそ、ど
のような時も、しっかり自分を見失う事のない人生を歩めるよ
うに生きていこうと思います。

「法華七喩」

- ・ 三車火宅 (さんしゃかたく) ・ 長者窮子 (ちやうじやくうじ)
- ・ 三草二木 (さんそうにもく) ・ 化城宝処 (けじやうほうじょ)
- ・ 衣裏繫珠 (えりかひじゆ) ・ 髻中明珠 (けいちゆうみやうじゆ)
- ・ 良医治子 (りやういじし)

たとえ
の喩

どのたとえも 勇気・力強さ・夢・希望を与えて頂けます!!

～ 忘れる ～

“忘れる” この言葉のイメージはあまり良い物ではありません。
“心を亡くす”と書きますよね。

たとえば、持ち物を忘れる、約束を忘れる、名前を忘れるなど、
忘れる事は不安になったり、困ったりする事ばかり…。

でも、もし忘れる事が無く、お～と覚えていたらどうでしょう。

病気になった時の苦しみや、人間関係の中での恨み・憎しみ、
自分自身が起こした過ちなどを、お～と忘れずに覚えていたら、
きっと生きている事がとても苦しくなります。

人は忘れる事で楽になれる、そう思う時があります。

何かに執着し過ぎて、その思いに自分自身を見失い、その
感情に振り回される人生はとても虚しい事です。

自分の人生を明るく、幸せに過ごすためにも執着せず、忘れる
事の出来る生き方がしたいと思います。

忘れる事は何かを失う事ばかりではなく、何かを得られる
チャンスのように思います。

また、新しい事の始まりのようにも思います。もし、認知症と
言う病に侵されたとしても…。

何か一つの事柄が思い出せず、強い執着に心を支配されて
しまい、不穏になるよりも、忘れても穏やかな生活が出来る様
に、人生を送りたいと思います。

= 弟の変化 =

弟は中学3年生の春に親の都合で転校を余儀なくされました。

一番々々感な時に友人と離れ、新しい場所での友人作り一番苦勞したのは、学業についていくことでした。

高校へは行きましたが、先生との間でうまくいかず中退し、一時期荒れていました。

このことがあってから弟は親への恨み、怒りが20年以上糸売いていましたが、昨年お上人の話聞き、気がき、弟はこのままではいけない、変わらないといけないと思っていました。

ただ、すぐには変えできない自分に対してもがき苦しんでいますが、頑張ってもいました。

父、弟夫婦、私の4人で山梨県へお墓参りへ行きました。身延山へも進んで行こうと言ってくれ、お墓参りの後に身延山へ参拝させてもらいました。

身延山へ行き、帰る途中、奥の院というところがあるのを知り、今度来た時は、そこへ行きたいと彼の口から発せられました。

奥の院は奥の院思親閣と云います。

日蓮様が親を思い、手を合わせた場所
だそう。奥の院からは日蓮様の両親が
住んでおられた房総半島がみえる場所でも
あるそう。

そういう由縁の場所であることを知らない弟が
自然と行きたいと思うところに仏様の縁。
ご加護をいただいているのだなあと感じました。

「人間万事塞翁が馬」

私は、人生で初めて裁判所の法廷に立ちました。

夫と浮気相手の女小生がそこにはいました。

〔私の夫は浮気をし、子供を作り、浮気相手の女性と、私の夫と私の共有名義の家で生活をしています〕
3人 並んで各々誓約書を読みあげ、裁判は始まりました。

まさか、直接会うとは思っていなかったため、最初には重か祟して緊張してしまいました。

裁判が始まり、しばらくして思いました。

今ある現実から目をそらしてはいけなないと思い、相手をずっと見ていました。

〔見んでいたといってもいいかもしれませんが〕

以前の私では、オドオドしていたのに違いありませんでした。

この1年半で私はいろいろな体験をすることで、考え方や物のとらえ方が変わってきたこともあり、相手を直視することができました。

相手のウソに重か祟することもなく終われたかと思えます。

今までは、会っていなかったことで、夫が何をしているのか
等思ってしまうこともありました。が、不思議なことに、心
のしこりがふい、となくなったように感じました。

会ってすっきりした自分がいました。

こんな人と離れて本当に良かったと今は素直に
思えます。

手を合わせていくことで“自分の中の心の殻が薄皮を
剥ぐごとくに変化していると実感しています。

人生で起った出来事はつらいようにも思えますが
今は 人間万事塞翁が馬だと思っています。

< 8月の行事予定 >

8月13日(水) 10:00~

宗祖日蓮大聖人報恩会
鬼子女尊神
七面大明神) 祈禱会

8月27日(水) 10:00~

松葉谷法華会
大古久尊大祈願会

※ 8月18日は出張のため法要休みです

< 住職の予定 >

8月16日(土)~8月19日(火) 身延波木井山内実寺出張

8月21日(木) 16:00~ 政庁地区協議会(当山にて)

< 8月の予定 >

8月6日(水)	各々の時間で	清掃、準備活動
↓	↓	↓
13日(水)	法要終了後	片付け、準備
20日(水)	各々の時間で	清掃、準備活動
↓	↓	↓
26日(火)		